

社会学特講（水2）レポート課題

太郎丸 博 *

2009年6月28日

1 問題

質的データの分析をしている著作 *1を2冊以上読んだうえで、以下の課題のうちから1つ選び、授業内容をふまえて論じなさい。

1. すぐれた質的研究 *2が満たすべき条件とはどのようなものか。質的研究をいくつか例にあげて具体的に論じなさい。
2. 質的研究は、どのような役に立つか。量的データ分析と比較し、具体的な研究の例をあげながら、質的研究の長所を論じなさい。

2 締め切り・提出先・書式・分量など

締め切り 7/27(月)

提出先 文学部教務掛(教育学部の人も)

書式 3000~4000字程度

用紙 A4。上下左右に2~3cmていどの余白をあけること。

書式 横書き。本文は11pt程度、明朝体のフォントで行間を十分にとって(ダブルスペース)印字すること。

* tarohmaru.h@hs2.ecs.kyoto-u.ac.jp, 新館 5F L510(客員准教授室)

*1 <http://tarohmaru.web.fc2.com/class.html> からリンクをたどってエスノグラフィーや歴史社会学のリーディングリストを読み参考にせよ。

*2 質的研究とは、非定形型のデータ分析にもとづく社会学の研究・著作のことを指して用いている。

- 形式
1. 最初にレポートのタイトル、所属、番号、名前、提出日を書くこと。
 2. レポートはいくつかの節に区切ること。
 3. ページの下部にページ番号をふること。
 4. レポートの末尾に参照した文献リスト付けること。
 5. 文献の参照や引用などの作法については指定しないが、我流でなく何らかの様式に従ってきちんを行うこと。参照・引用および、その他もろもろの形式について迷った時は、社会学評論スタイルガイド <http://www.gakkai.ne.jp/jss/jsr/JSRstyle.html> にしたがうこと。

3 評価基準

- 〆切や書式などが守られているか
- 誤字脱字はないか(誤字脱字は3つまで)
- 分かりやすく書かれているか、論述に無駄な繰り返しや飛躍はないか
- レポートの課題に正しく答えているか
- よく勉強しているか、既存の学説や研究を正しく理解しているか
- 独創的な議論か